

一人ひとりと向き合いながら、 楽しさが力になる環境を提供します！



越川 将也

大学受験グノーブル 数学科



櫻田 邦浩

大学受験グノーブル 数学科



眞田 素

中学受験グノーブル 算数科



三浦 勇二

大学受験グノーブル 数学科
中学受験グノーブル 算数科

算数の指導陣も授業を担当します

眞田 中学受験のために通っていた塾を終了して、新たな塾探しをするというのはなかなか大変なことです。それは、中学受験の塾に満足していた場合、なおのことです。

同じ名称や提携のもとに中学受験から大学受験まで併存する塾や予備校は他にもありますが、積極的な連携を行って、よりスムーズに上に移行できる環境をつくっていかうとしているのはグノーブルが初めてではないでしょうか。中学受験を終えた生徒たちに、安心して通っていただくため、中学受験の指導陣も授業に加わっていき、より良い小中高の一貫教育ができるように力を尽くしていきたいと考えています。

生徒の期待を上回る授業を行います

櫻田 算数から大学受験の数学までは、とても長い道のりです。だからこそ、生徒たちが、いくつものハードルをスムーズに通過できるように、中学受験を目指して算数を学んできた生徒たちが、何をどのように勉強してきたかなどの情報を共有できた上で中学以降の指導ができるのは、非常に大きなメリットです。

中学受験を最終ゴールにして、正解を出すトレーニングに終始したのでは、合格という目標を達成した瞬間に力が抜けてしまうかもしれません。でも「算数は楽しい！」という手応えを持った生徒たちは、数学にも新しい発見の興奮があるのではないかと期待して中学部に来てくれるのだと思います。私たちも、その期待を上回る授業と環境を提供していきます。

また、小学生のときに算数が得意ではなかった生徒たちにも、安心して来てほしいと思います。これまでも、中学生になってから数学がどんどん好きになった生徒はたくさんいます。生徒たちの個性はさまざまですから、小学生のときに算数の楽しさに目覚めていなくても、きっかけと環境があれば数学を好きになり得意科目にすることもできます。そのように導くことも私たちの役目でもあります。

一人ひとりの成長をお手伝いします

三浦 中学受験が終わっても、1週間くらいすると自分たちから「塾に行きたい」と言い始める生徒はたくさんい

ます。同じ方針、同じ文化を持った環境の中に、中学生、高校生が学ぶ信頼できる塾が存在しているというのは、生徒や保護者の方々にとっては大きな安心材料になるはずですよ。

グノーブルでは、生徒たちが自分で考えて解決する力をつけていくことを常に大切にしています。

それは小さな一歩から始まります。「できた! 答え合わせをしたら合っていた」という段階です。1問のできた感覚が1つの感動です。それをきっかけに、だんだん難しい問題に挑戦して、あきらめずにがんばれるようになっていくのです。少し厳しい問題にかじりついて「解けた!」という経験ができれば、感動はより大きくなります。さらに、解けなくて頭がジリジリする感じでさえ楽しいと思えるようになります。

こうやって生徒たちがたくましくなっていく過程で、どのような問題が生徒にとって大切なのか、教室や授業の雰囲気はどうか、といったことにいつも気を配っています。生徒たちを長くお預かりする上でその成長は何よりもうれしいことですから、私たちも一生懸命その成長のお手伝いをしたいと思います。

楽しさが力になる環境を提供します

越川 算数が数学かを問わず、どの単元でも楽しんで取り組むことが力をつける基本だと思います。たとえば、中学の時に、図形問題を楽しむ土台ができている生徒、親している生徒は、それが高校数学でも大きな力になってきます。そうしたことを小学生から中学生、高校生という大きな流れの中で、先生同士が情報の共有を行いながら一貫して見ていけるというのは、生徒にとっても、私たち教える側にとっても非常に大きなメリットになることは間違いありません。

また、中学受験も大学受験もゴールではないという考え方は、基本的にはその通りだと思います。しかしながらその一方で「それでも数学は嫌いだ」という生徒たちの役に立ちたいとも思っています。大学受験は人生の通過点に過ぎません。ただそれは、生徒たちにとっては大きな壁であることもまた事実です。その壁を生徒たちがなるべくスムーズに越えていけるようにするのも私たちの大事な役割であると思っています。